

PAT-NO: JP402283342A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02283342 A
TITLE: DRYER
PUBN-DATE: November 20, 1990

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
TANOOKA, HIKOKI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD N/A

APPL-NO: JP01108343
APPL-DATE: April 25, 1989

INT-CL (IPC): A47K010/48

ABSTRACT:

PURPOSE: To uniformly dry a human body according to the type of the human body by varying the air blowing directions of air blowers to the horizontal directions or the vertical directions, and by making the dimensions of the variable widths different depending on respective blowing ports according to the shape of the human body.

CONSTITUTION: In a dryer main-body 2, a plurality of air blowers 3 are arranged, and on the front surface of the main body 2, a suction port 2a is formed on the upper section and blowing ports 2b-2e are vertically arranged in parallel with each other on the lower side. In the air blowers, fans 4 are arranged on the rear surface sides, and louvers 6 are arranged on the front

surface sides, and between the fans 4 and the louvers 6, heaters 5 are arranged, and the louvers can be manually regulated only in the vertical direction. By said composition, when a dryer 1 is worked, then the air blowers are worked, and air is sucked up from the suction port, and warmed air blows from the respective blowing ports. In this case, by keeping the vertical direction of the louvers regulated according to the type of a human body, the warmed air is uniformly applied to the human body, and the human body can be perfectly dried.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A)

平2-283342

⑤Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬公開 平成2年(1990)11月20日

A 47 K 10/48

6654-2D

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

⑭発明の名称 乾燥機

⑯特 願 平1-108343

⑰出 願 平1(1989)4月25日

⑱発明者 田野岡 彦己 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内
⑲出願人 松下電工株式会社 大阪府門真市大字門真1048番地
⑳代理人 弁理士 宮井 咲夫

明 細 書

1. 発明の名称

乾燥機

2. 特許請求の範囲

(1) 乾燥機本体の前面に複数の吹出口を縦並設し、これら吹出口の内側に送風装置を設置し、前記乾燥機本体に設けた吸気口から取り入れた空気を前記吹出口から排出する乾燥機において、前記送風装置の送風の吹き出し方向を水平方向に可変とし、その可変幅を人体の形状に合わせて各吹出口ごとに異なる寸法としたことを特徴とする乾燥機。

(2) 前記送風装置の送風の吹き出し方向を上下方向可変とした請求項(1)記載の乾燥機。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、脱衣室等において濡れた体を乾燥させる際に用いる乾燥機に関するものである。

〔従来の技術〕

従来、一般家庭において風呂上がり等の後に体

を乾かす乾燥機として、第9図に示すものがある。この構造は、乾燥機21の前面に多数の吹出口22を設け、この吹出口22から吹き出される温風により体を乾燥させるものである。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかし、この構造においては、吹出口22から吹き出される温風の向きが固定されていたので、体を隈無く均等に乾燥させることができなかった。また、温風が局部的に当たるために部分的に熱くなりすぎることがあった。

したがって、この発明の目的は、体型に合わせて均等に体の乾燥が行える乾燥機を提供することである。

〔課題を解決するための手段〕

この発明の乾燥機は、乾燥機本体の前面に複数の吹出口を縦並設し、これら吹出口の内側に送風装置を設置し、前記乾燥機本体に設けた吸気口から取り入れた空気を前記吹出口から排出する乾燥機において、前記送風装置の送風の吹き出し方向を水平方向に可変とし、その可変幅を人体の形状

に合わせて各吹出口ごとに異なる寸法としたことを特徴とするものである。

また、前記乾燥機の送風装置は、送風の吹き出し方向を上下方向可変としてもよい。

〔作用〕

この発明の構成によれば、送風装置により風向を上下左右に変えることができるので、体型に合わせて効率的に乾燥を行うことができる。また、吹出口を風向調整可能の設けたので、体を隈無く乾燥させるのに少ない吹出口で済む。

〔実施例〕

この発明の一実施例を第1図ないし第8図に基づいて説明する。

乾燥機1は、第1図に示すように、乾燥機本体2の内部に複数の送風装置3を設置して形成してある。

乾燥機本体2の前面には、上部に吸気口2aが形成してあり、その下方に吹出口2b～2eが縦方向に並設してある。吸気口2aは、送風装置3が作動したときに乾燥機本体2内に空気を供給す

る。吹出口2b～2eのうち、最上段に設けた吹出口2bは人の頭部を乾燥させるためのもので、内面側に送風装置3が設けてある。この送風装置3は裏面側にファン4が、前面側にルーバ6が設けてあり、ファン4とルーバ6の間にヒータ5が設けてある。ルーバ6は手動により上下方向にのみ調整することができる。

吹出口2c～2eの内面側には、それぞれ第3図に示すような送風装置3が設置されている。この送風装置3は、吹出口2bに設けた送風装置3の上部にルーバ6の上下方向の調整を行うための駆動装置7を設け、下部に送風装置3を水平方向に回転させるための駆動装置10を設けて形成してある。ルーバ6にはラック9が接合されており、このラック9と歯合するギア8が駆動装置7内に設置され、ギア8はモータ（図示せず）に連結されている（第4図（A）、（B））。送風装置3の前部に設けた風向部材3aは下方に設けた駆動装置10に水平方向に回転自在に連結されており、第5図に示すように、正面から斜め正面に向けて

3

送風することができる。また、吹出口2c～2eは、第2図に示すように、体型に合わせて水平方向の幅寸法を下方のものほど小さく形成してある。したがって、これらの吹出口2b～2eからは、第8図に示すような分布A、B、C、Dで温風が吹き出され、体を乾燥させる。

この実施例による動作を説明する。乾燥機1を作動させると、送風装置3が作動して吸気口2aから空気が吸引され、吹出口2b～2eから温風を吹き出す。このとき、体型に合わせてルーバ6の上下方向の向きを調節しておくことにより、温風が体にまんべんなく当たり、体を隈無く乾燥させることができる（第6図、第7図）。

この実施例の構成によれば、送風装置3により風向を上下左右に変えることができるので、体型に合わせて効率的にかつ隈無く体を乾燥させることができる。しかも、局部的に温風が当たらないので、熱くなりすぎるのを防止することができる。また、風向調整可能の吹出口2b～2eを設けたので、体を乾燥させるのに吹出口が少なく済む。

4

したがって、電気容量を小さくすることができ、経済的である。また、この乾燥機1で脱衣室を乾燥させる場合にも、上下左右に風向を設定することができるので、脱衣室の暖房を効率的に行うことができる。

なお、前記実施例においては、吹出口2b～2eの幅寸法をそれぞれ変えることにより水平方向の吹き出しを可変させていたが、吹出口2b～2eの幅寸法を同一に形成し、送風装置3の風向部材3aの回転幅を可変にしてもよい。

また、前記実施例では送風装置3にヒータ5を設けて温風を吹き出すようにしていたが、ヒータ5を作動させずに風だけを送るようにしてもよい。

〔発明の効果〕

この発明の乾燥機によれば、送風装置により風向を上下左右に変えることができるので、体型に合わせて効率的に乾燥を行うことができる。また、吹出口を風向調整可能の設けたので、体を隈無く乾燥させるのに少ない吹出口で済む。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例の断面図、第2図はその正面図、第3図は乾燥機の内部に設けた送風装置の斜視図、第4図(A)、(B)は風向の上下方向の調整動作を示す部分略断面図、第5図(A)、(B)、(C)は風向の水平方向の調整動作を示す略断面図、第6図は乾燥機の動作時の側面図、第7図はその平面図、第8図は送風装置による送風範囲を示す説明図、第9図は従来例の側面図である。

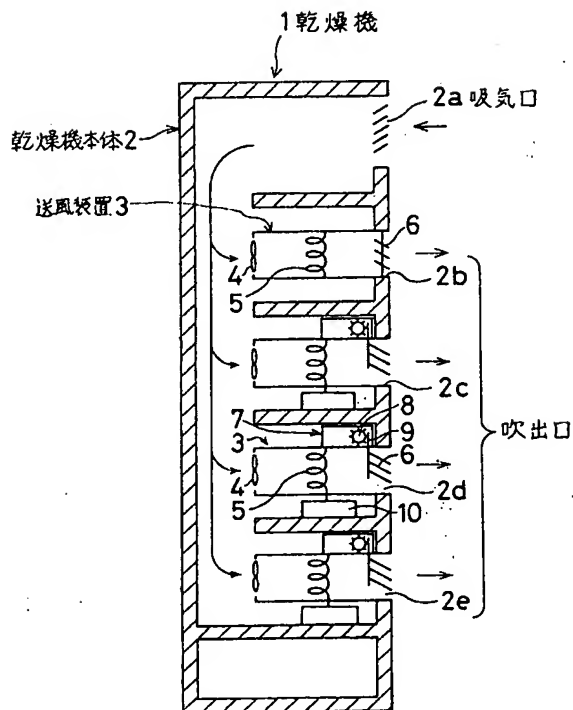
1…乾燥機、2…乾燥機本体、2a…吸気口、
2b~2e…吹出口、3…送風装置

特許出願人 松下電工株式会社
代理人 弁理士 宮井 暎夫

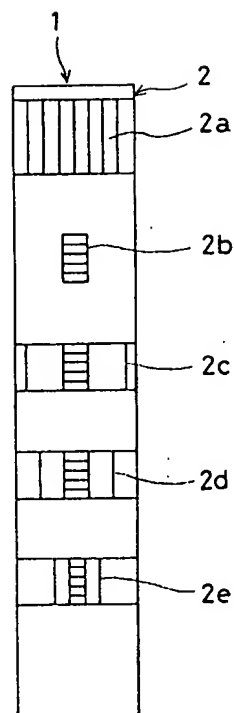


7

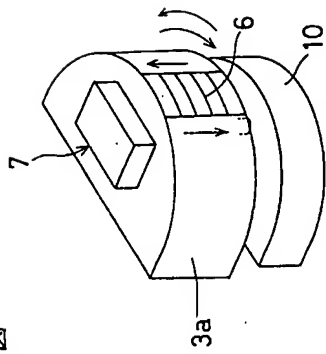
第 1 図



第 2 図



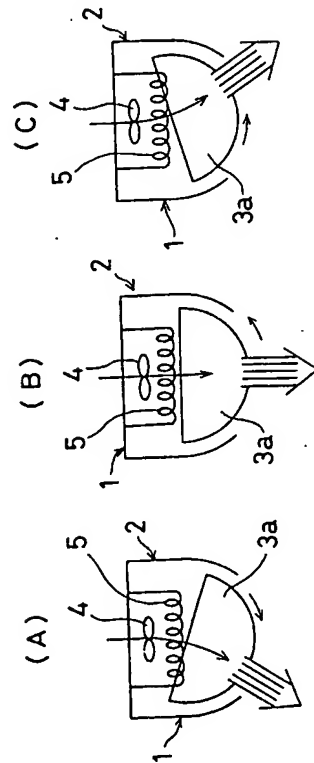
第 3 図



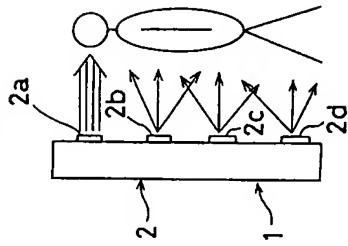
第 4 図



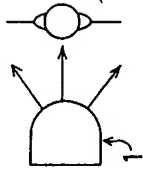
第 5 図



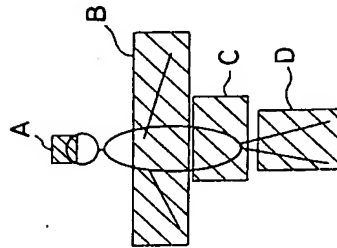
第 6 図



第 7 図



第 8 図



第 9 図

